

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 3 年 3 月 22 日

事業所名 児童デイサービス あおぞら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		走り回れる程の広さはないので外遊びや時間のある時はコミセンなどの講堂に向くなど工夫している。	
	2	職員の配置数は適切である	○		個別対応する際や事前準備を丁寧にするなどの配慮をしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		建設時に段差などバリアフリーの配慮はした。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		企画の段階から会議で確認をし、実施後の振り返りも欠かさないようにしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価制度を取り入れるには至っていない。	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		講師を招いての内部研修は数回行い、今年度は市外の研修はZOOMを活用してのインターネット研修を実施した。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	標準化されたものでなく独自の様式で行っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎回、担当者からの提案をたたき台に検討している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		出勤体制により一堂に会せないこともあるが伝わるように工夫している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了後の話し合いや、個別記録に記載することで共有を徹底している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度に加え必要に応じ見直している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在、医療的ケア児の利用はない。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	相談事業所からの情報に留まっているが必要に応じて向いて情報を得るようにする。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	資料も用意し担当者で情報交換している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	訪問指導も受け研修は毎年している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	地域での「ニュースポーツ体験会」などに参加しているが不十分である。今後「放課後児童クラブ」との交流はもちたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	行事や研修には積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎時や連絡帳を通して、必要に応じ面談の実施。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	「家族交流会」で研修の機会は作ったが不十分である。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	父母の会の要望があれば支援したい。「家族交流会」の実施で交流の機会を作っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	毎月の「月刊あおぞら」の発行や随時お便りの発行や、法人のホームページで情報提供している。
	35	個人情報に十分注意している	○	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	「夏まつり」や「クリスマス会」に今年度は招待できなかった。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	策定した冊子を保護者との面談時に説明している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	毎月「避難訓練」を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	ZOOM活用によるインターネット研修を実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	対象となる子どもはいないが今後あれば対応したい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3 年 3 月 22 日

事業所名 児童デイサービスあおぞら 保護者等数(児童数)14 回収数 13 割合 93 %

	チェック項目	評価				ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	3	3	1	動き回れるスペースが少ないので、時間のある時は公民館やコミセンなどの広い場所に向向いて活動するなど工夫している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	4		1	個別対応する場面では職員の動きを工夫したり事前準備を丁寧にするなどでより適切に対応できるよう配慮している。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	3		3	建設時に段差などバリアフリーへの配慮をした。但し玄関先など屋外は砂利を敷くなどの段差解消は順次進めているところである。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12	1			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	1		1	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	3	4	今年度交流の機会をつくれたのはニュースポーツ体験会への参加のみであったが、今後「なかよし会」との交流の機会をつくっていききたい。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	3	1		より理解を得られる機会を今後つくっていく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	1			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	2			面談時や「家族交流会」の際にペアレントトレーニングや話し合いの機会を設けたが、今後とも配慮していきたい。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	4		2	父母の会は要望があればつくっていききたい。「家族交流会」のイベントは毎年実施しているので連携につながる機会になるよう工夫していく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	3	1	2	今年度、苦情に当たるようなものはなかったが、出た場合は迅速に対応することとしておりマニュアルも作成している。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	1			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	2			毎月の「月刊あおぞら」や法人のホームページで情報提供している。
14 個人情報に十分注意しているか	11	1		1		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	2		1	法人としてこれらのマニュアルの冊子を作り、最近では新型コロナウイルス感染予防対策に関しても整備したので保護者にも面談時に説明したい。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12			1	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	11	1	1		
	18 事業所の支援に満足しているか	10	2	1		支援の不十分な面は保護者の理解を得ながら充実できるよう尽力していきたい。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画の事です。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動の事です。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されています。